

ノーチャイム制は必要か



錦町地区

立川第三中学校二年

牛山 美結

三中は朝一回しかチャイムが鳴りません。朝八時二十五分に鳴った後は、時計を見て、時間を意識して行動することが求められています。

しかし、私はチャイムは鳴った方がいいと思います。なぜそう思うのか、ノーチャイムの理由である次の二つのことから考えてみました。

まず、「時計を見て行動する」ということについてです。生徒は腕時計を持っています。廊下やトイレ、階段など、時計のないところでは時間を確認することができません。「時計を見て」といっても、学校には時計がないところがたくさんあります。

次に、「時間を意識する」ということについてです。常に腕時計等で時間を確認できる先生とは違い、腕時計を持っていない私たち生徒が、ノーチャイムで時間を意識するということには少し無理があると思います。しかし、時計のないところでも、チャイムが鳴れば時間が分かります。つまり、時間を意識するためにも、チャイムは必要だと思っています。

チャイムが鳴ることにメリットがあります。だからこそ多くの学校では今でもチャイムが鳴っているのだと思います。最も大きなメリットは、授業に気持ちを切り替えることができることだと言われています。ただ、授業の前の号令で気持ちの切り

替えは十分できます。つまり、チャイムのメリットを感じているのではなく、ノーチャイムのメリットを感じていないのです。

しかし、時計を見て行動することも、時間を意識することも、とても大切なことだと思います。しかも、ノーチャイムが三中の伝統であるのならば、それをやめた方がいいと簡単に言うこともできません。

そこで、チャイムが鳴った方がいいと思う意見と、ノーチャイムのメリットや三中の伝統も尊重して、次の二つのことを考えてみました。

一つ目は、授業の始まる三分前に予鈴を鳴らすということです。授業の始めと終わりは時計のある教室にいるのでチャイムは必要ありません。もし、休み時間に時計のないところにいても、予鈴が鳴れば、もうすぐ授業が始まることがわかります。

二つ目は、腕時計を学校に持っているようにするということです。腕時計があれば、いつでも時間を確認できるし、時間を意識することもできます。学校のどこにいてもそれができるようになります。また、家から学校までがとても遠い生徒もいます。例えば、いつもより少し家を出るのが遅くなってしまうときなど、学校に着くまで時間が全く分らないと不安になるし、急ぎすぎて危険だったりもします。腕時計の使用が可能であれば、ノーチャイム制を続けてもいいと思います。

以上のことから、学校の中で生徒が時計を見て、時間を意識して行動できるようになるためには、ノーチャイム制は必要ありません。授業の始まる三分前の予鈴か、いつでも時間を確認できる腕時計の使用があれば、きっと時間を意識して行動できる生徒が増えるのではないかと思います。

みなさんはノーチャイム制が必要だと思いますか。